

# QSK にぬふあぶし

No.266

ね  
子の方向の星



## 第5回 こころんピックソフトバレー大会

去る、1月30日から2月1日の3日間、県総合運動公園で第5回こころんピック(ソフトバレーボール大会)を開催致しました。

今年の参加者団体は14チームの参加で予選リーグと決勝リーグともに盛り上がりました。今年の優勝チームは、5連覇を達成したなかゆくい会チーム(精和病院)、準優勝チームはがじゅまる(オリブ山)チームとなりました。今年の九州大会は福岡で開催される予定で一つでも多く勝ち残ってほしいと思います。



精和なかゆくい会チームの練習風景



準優勝のオリブ山ガジュマルチーム

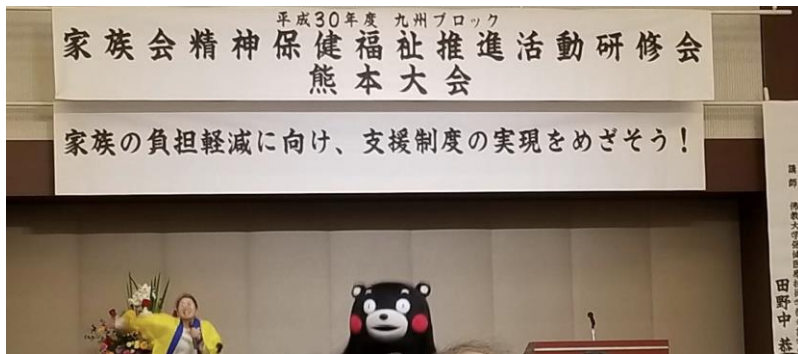
### 優勝チーム監督の感想

みんなが協力して頑張ってきたが成果がいい形で出たと考えている。勝ち負けも大事だが、選手全員が試合に出場し、仲間との絆や達成感などを感じてほしかった。沖縄代表として、九州大会も制覇を狙います。



九州大会も頑張ります！

## みんなねっと九州熊本大会 参加報告



去った2月7日・8日、九州ブロック家族会熊本大会が行われました。沖縄からは家族会、地域活動支援センター、福祉サービス事業所のスタッフなど7名で参加し、九州各地のみなさんと学び合いに交流を深めてきました。

大会は大人気のくまモンのダンスではじまり、講演「災害と障害」、記念講演「統合失調症療養者の親が経験した困難と支援～家族の語りを通しての一考察～」、懇親会、翌日は実践報告「運動（スポーツ）することがなぜいいのか～特徴や状態に合わせた方法～」と5つの分科会がありました。会場のすぐそばでは、2016年の熊本地震で被災した熊本城が復興工事中でした。まだまだ大変な生活をされている方々がいらっしゃると思います。

沖福連では、書籍『消された精神障害者』を販売しましたが、おかげさまで完売でした。ありがとうございます！熊本、そして九州各地のみなさん、そしてそして一緒に行っただけなのにここに元気な沖縄の先輩方からいろいろと刺激を受け、新しく元気な気持ちになれた熊本大会でした。

**来年の九州ブロック大会は沖縄開催！みなさんお楽しみにしてください！**

最後になりましたが、北九州あかつき会の守谷さん、本の販売では本当にお世話になりました。ありがとうございました！



先輩方もくまモンに癒されます☆



復興工事中の熊本城

## みんなねっと兵庫大会に参加して

【平成30年11月26日 當山幸子】

兵庫県、県政150年の年に大会参加が出来て嬉しく思います。オープニングアトラクションは、歌・三線ユニット「淡路ぬニセター」で視覚障がいのある葉満啓裕さんの前向きに生きる姿と、三線を弾き歌う姿を実際に見せることで、子供たちが障がい者の問題を考えるきっかけになり、学校公演でも好評を得ているそうです。戎剛さんの力は大きいと感じました。我が家の息子は母の形見の三線の弦をハサミで切りバラバラにしています。どうしてこんなに違うの、なんでそうなるの…そんな思いで聞いていました。五色太鼓「響」は月2回の活動プログラムを中心に練習しているそうです。成果が発揮され心に響きました。

### 基調講演テーマ「精神疾患を正しく理解するための教育の必要性について」

講師：山田治雅 氏

日本の精神保健福祉の法律は変わっても根本的な考え方、偏見、スティグマはまだまだ根強く残っている。日本の「教育」が上手く機能していない。何故機能しなかったのか？私たちが望むことはただひとつ、全ての人々が偏見の少ない生きやすい国・時代にしていくことです。

オーストラリア、イギリス、カナダ等では精神保健教育で(メンタルリテラシー)が早期に小中学校で正しく教育なされ当たり前精神疾患を理解し、対応を学び、誰もが関心を持って障がいを持った方々やその家族の方々に対する支援活動へと結びつけられているようです。日本では、2018年2月、高校の学習指導要領の改定案が発表され「保健」に「精神疾患」が入ることになり、2019年から先行実施、2022年から本格実施、学校に通う15歳の全ての若者が精神病に対処しうる知識を身に付けるべきであると思います。現場の先生も達も学ばねばと思います。

### 特別講演テーマ「心の病とは何か～物質と物質でないもの～」 講師：糸川 昌成 氏

近年の生物学的精神医学とは、精神病状という「物質でないもの」を初めて相手にした科学(物質しか扱わない)に他なりません。ただし、心の病には脳(モノ)と出来事(コト)の要素があり体験と因果関係がない「病気でないもの」が含まれ、薬は脳(モノ)に作用しますが出来事(コト)には効きません。人が回復するには、モノ(脳)とコト(尊厳・自尊心など)の両方への手当が必要となるのです。

ビタミンB6はカルボニルを排泄、AGEの解毒作用を持っているビタミンB6欠乏のあるカルボニルストレス性の方はビタミンB6を補充したら病状が改善しないだろうか？ビタミンB6を買って飲んでも効果は期待出来ないそうです。大事なことは、薬は効かないので家族が一番効果的なビタミン愛をあげることだと感じました。ほめ愛、支え愛、いたわり愛だと思います。

